

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

Zoomによるオンライン講義

受講希望者は、前日までに、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

記

演題：with コロナ時代における歯科の役割
－感染症の予後を分ける口腔ケアの重要性－

講師：日本大学歯学部 細菌学講座 今井 健一 教授

日時：2022年7月7日(木) 17:30-19:00

内容：

口腔の衛生状態は、肺炎の発症や昨年世界の死因の第3位となった慢性閉塞性肺疾患(COPD)の増悪と深く関係しています。最近では、肺炎やCOPDのみならずCOVID-19患者の肺や痰からも口腔細菌が検出されることや、歯周炎患者においてはCOVID-19の死亡・重症化率が高いことなどが複数報告されています。口腔の不衛生はCOVID-19においても悪影響を及ぼしている可能性があります。しかし、EBMを実践する上で最も重要な部分、なぜ口腔ケアは肺炎の予防に有効なのか?、どのように口腔細菌が肺炎、COPD、インフルエンザ、さらにはCOVID-19の発症と進展に影響を及ぼしているのか?、についてはよくわかっていません。

本講演では、口腔と呼吸器疾患との関連、特に歯周病原菌誤嚥による呼吸器疾患の発症と増悪機序について、私たちの研究成果を中心に話をさせていただきます。

担当：長谷川翔平(摂食嚥下リハビリテーション学分野)

s.hasegawa.swal@tmd.ac.jp